

## 京都映画賞（仮称）の概要

## 1 京都映画賞（仮称）の事業概要

映画の中でも特に、時代劇製作に必要な資源が集積している京都で、映画文化の更なる振興、持続可能な担い手育成、国際文化観光都市としての魅力発信に寄与するため、時代劇に焦点を当てた「京都映画賞（仮称）」を創設し、京都における時代劇映画の復興を目指すもの。

## 2 賞の狙い

ア 優れた時代劇作品を表彰することで、幅広い層にその魅力を伝え、映画を「観る人」（特に時代劇ファン）を増やす。

イ 衣装、結髪、美術、殺陣、撮影、照明、録音等、京都が誇る時代劇に関する技術にスポットを当て、時代劇製作を「支える人」（技術者）を表彰することで、貴重な技術を次世代へと継承していく。

ウ これから時代劇映画を「作る人」を表彰し、様々な支援を行うことで、未来の時代劇製作を担う「作り手」の育成を図る。

## 3 実施案

		実施案		
① 賞の区分	作品賞	優秀スタッフ賞	奨励賞	
② 賞の概要	優れた時代劇作品を顕彰することで、時代劇映画の素晴らしさを多くの方に知っていただき、映画を「観る人」、時代劇ファンの裾野を広げていく。	時代劇を支える高い技術にスポットを当てることで、かけがえのない技術を多くの方に伝えていく。さらに、時代劇を支える担い手の育成につなげる。	「時代劇を撮りたい」という熱意ある優れた「新鋭監督」にスポットを当て、未来の時代劇製作を担う「作り手」の発掘を目指す。	
③ 公募の有無	無		有	
④ 賞の対象	日本を舞台とした時代劇映画で、有料劇場公開された長編（60分以上）1作品	衣装、結髪、美術、殺陣、撮影、照明、録音等、時代劇に関するあらゆる分野の技術者（2～3名の表彰を予定）	「時代劇を撮りたい」という熱意ある新鋭監督（長編製作3本まで）1名	
⑤ 審査の対象・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を舞台とした時代劇映画で、有料劇場公開された長編（60分以上）作品</li> <li>対象期間は、公開が前年7月～当該年6月末</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画・テレビを問わず、全ての時代劇作品を対象とする。</li> <li>対象期間は、公開及び初回放送が前年7月～当該年6月末</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6箇月程度の作品募集期間を設ける。</li> <li>応募作品の製作時期、短編・長編、ジャンル等は不問</li> </ul>	
有識者、学識者、映画評論家等による審査委員会を立ち上げ、毎年8月～10月に作品を審査する。				
⑥ 副賞	賞金100万円（予定） ※令和2年度予算案として市会に提案。	2～3名それぞれに賞金100万円（予定） ※令和2年度予算案として市会に提案。	ロケハンへの協力や京都市所管施設での撮影など、時代劇製作につながる効果的な支援策を令和3年からの実施に向けて検討。	
⑦ その他	授賞式や上映会（「作品賞」及び「優秀スタッフ賞」受賞作品を上映）、交流会を市内会場にて開催。			